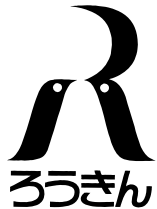




いしかわ労福協

第 486 号 2008年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 綿 征一
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可



北陸労働金庫第7回通常総会

ろうきんを働く人のライフラインに



川淵理事長

北陸労働金庫第7回通常総会が6月24日(火)、石川県立音楽堂で開催された。

総会では、今年度からスタートする第3期中期計画(2008年度～2010年度)の柱である「ろうきんを働く人のライフラインに」をテーマに掲げ、金融サービスの向上、取引基盤の拡大、安定した収益基盤の確立、次世代オンラインシステム構築など「ずっと快適な金融サービスを提供していく」とした2008年度事業計画等を決定した。

北陸労働金庫役員

理事長	川淵 尚志	連合石川
副理事長	森田 則夫	芝浦電産労組
専務理事	中山 光男	員 外
常務理事	大村 正人	員 外
〃	吉田 和章	員 外
〃	草嶋 安治	全日通労組富山県支部
理 事	谷池 利一	関西電力労組若狭地本
〃	本田 茂人	小松製作所労組北陸支部
〃	尾谷 康弘	北陸電力労組本部
〃	宮越 勝義	富山地方鉄道労組
〃	岩淵 正明	員 外
〃	上木 雅雄	N T T 労組福井県G連協
〃	辻 政光	三協立山アルミ労組
〃	柚木 光	石川県教職員組合
〃	田邊 猛人	福井県庁職員組合
〃	宮崎 敏裕	不二越労組
〃	泉 祐二	小松精練労組
〃	浜守 秀樹	松下電器半導体労組魚津支部
〃	石田 学	トナミ運輸労組
〃	前川 文一	福井県教職員組合
〃	小川 和守	福井村田製作所労組
〃	湊口 洋伸	N T T 労組北陸総支部
〃	三尾 善弘	石川県職員労組
代表監事	宮下 亮	電気連合石川地方協議会
監 事	南 高広	北陸鉄道労組
〃	吉田 久夫	セーレン労組
〃	小泉 徳朗	富山県教職員組合
常勤監事	山形 俊夫	員 外
石川県本部長	梅澤 彰人	連合石川
石川県副本部長	長田 孜	員 外
富山県本部長	山本 敏夫	富山県職員労組
富山県副本部長	西田 晋	員 外
福井県本部長	荒谷 一井	セーレン労組
福井県副本部長	倉本 健二	員 外

13時30分に開会した総会には、236名の代議員(委任1,062会員)が出席。柚木光理事(石川県教職員組合)と小川和守理事(電機連合福井村田製作所労働組合)を議長に選出した。

冒頭、川淵尚志理事長が挨拶に立ち、金融情勢について「サブプライム問題を発端にした米国経済の減速と原油・食料高などが日本経済の先行きの不透明感を高め、物価の高騰が勤労者の生活に大きな影響を与えている。加えて、2007年度後半から株安が急激に進行し、円高・長期金利の低下を招いた」と話し、「このような厳しい環境下にあっても北陸労働金庫は当期利益8億9千3百万円を計上し当初計画を上回り、第2期中期計画で掲げた『働く人・会員の強い共感と支持を受ける』『収益構造を改善し安定経営を実現する』という大きな課題を会員の皆様の協力で実現することができた」と報告。また、日本労金構想については「①2009年6月の総会で合併に向けた態度を明らかにする。②合併に関する合意案を2009年6月の労金協会総会で議決する。③2009年7月合併準備委員会(仮称)を設置する」と述べ「本年秋頃までに会員討議の諸準備を進める」と説明した。最後に安心・安全・貢献の北陸労働金庫を代表して「今年度スタートする第3期中期計画を柱に、より快適な金融サービスに努め、生活総合福祉金融機関としての責任を果たしていきたい」と抱負を述べ挨拶を締め括った。 =次ページへ

議事案件では、第1号議案「2007年度剰余金処分案承認の件」、第2号議案「第3期中期計画(2008年度～2010年度)並びに2008年度事業計画承認の件」、第3号議案「役員補充選任の件」、第4号議案「役員退任慰労金の件」の全ての議案が可決された。

最後に、新旧役員が挨拶、スローガンを採択し、



15時25分に閉会した。

北陸労働金庫石川県本部次長 津田 勝

石川労福協第2回理事会



県労福協第2回理事会が6月30日(月)、フレンドパーク石川で開かれ、「無料職業紹介所(ジョブいしかわ)開設にむけて」や「労働者福祉基金管理委員会委員の選任」、「国際交流への派遣」について協議した。

中央労福協主催「第40次欧州労働者福祉視察団」では、綿征一常務理事が9月1日～11日の間、フランス・ベルギー・イタリアを訪問する。また、ILO協会主催「2008年度海外労働事情調査団」が10月14日～25日の間、ドイツ・スイス・ベルギーを訪問。派遣者2名については、連合石川に一任することとした。

理事会ではその他、緊急サポートネットワーク事業やライフ・サポートセンターの取り組み、割賦販売法改正の取り組み等が報告された。

なお、次回理事会は、8月26日(火)13時30分よりフレンドパーク石川で開催する。

事務局日誌

<6月>

26(木) 中部会館協定会(～27日)	三重県伊勢市
28(土) 緊サポフォローアップ研修	フレンドパーク石川
〃 退職前セミナー 小松会場	小松市民センター
29(日) 退職前セミナー 白山会場	白山労働会館
30(月) 石川労福協第2回理事会	フレンドパーク石川

<7月>

1(火) 事務局会議	フレンドパーク石川
3(水) 中央労福協・会長事務局長会議(～4日)	七尾市
9(水) 勤文協40周年実行委員会	フレンドパーク石川
10(木) 第2回地方労福協会議(～11日)	東京都
12(土) 退職前セミナー 金沢会場	労済会館
17(木) 中央労福協国内交流(～18日)	大阪市
24(木) 第25回ユニオントラベルセンター協力委員会	フレンドパーク石川

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

サポート会員フォローアップ研修会

いしかわ緊急サポートネットワーク県センターは、「2008年度第1回サポート会員フォローアップ研修会」を6月28日(土)、フレンドパーク石川で開催。27名のサポート会員が、熱心に講師の話に耳を傾けた。

研修会は、才田巖労福協専務理事の挨拶の後、金沢大学附属病院小児科太田邦雄先生から「病児への対応・緊急時の対応」について講義を聴き、心肺蘇生法の実技を学んだ。今回は、これまで要望が多かった病児の預かり時の対応や知識をテーマとし、特に手洗いの重要性や感染症への接し方と自分を守る大切さ、誤飲や鼻血、発熱、けいれん時の対応等々を研修した。また、参加者からは次回に向けて、実際の事例紹介やサポート会員相互の情報交換などの要望が出された。

最後に、研修者全員に修了証が手渡され、研修会を終了した。

緊サポアドバイザー 直江 圭祐



会員募集状況／サポート状況 6月30日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	6 (+1)	0 0
わじま	2	8	0 0
なお	6	3	0 0
はくい	1	5	0 0
かほく	12	50 (+1)	37 (+29)
かなざわ	94 (+3)	268 (+4)	194 (+74)
はくさん	25	63	39 (+8)
こまつ・のみ	15	28	9 (+3)
かが	3	4	0 0
計	164 (+3)	435 (+6)	279 (+114)

※()は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

第6回退職前セミナー

「これから始まる年金生活、
賢く学んで賢く生きる」
3会場で245名が受講

県ライフ・サポートセンター主催で毎年好評の「第6回退職前セミナー」が6月28日(土)・29日(日)・7月12日(土)の3日間、小松会場(小松市民センター)、白山会場(白山市労働会館)、金沢会場(労済会館)の3会場で開催された。

今年で6回目を迎えたセミナーは、(社)石川県雇用支援協会・前田弘コーディネーターの協力で社会保険労務士の谷内美穂子氏と馬場壮一郎氏を講師に招き「これから始まる年金生活、賢く学んで賢く生きる」をテーマに講義。退職を前にした連合石川の組合員や新聞広告・宣伝ビラで開催を知った勤労者など245名(小松79名、白山90名、金沢76名)が受講、昨年より35名増となった。

最近の諸物価値上がりで年金生活を控えて、各会場合計で56組の夫婦が参加。また、当日の駆け込み参加者が約20名を数え、各会場とも超満員となる盛況ぶりとなった。



谷内美穂子講師



馬場壮一郎講師

況ぶりとなった。

セミナーでは、講師が退職後のライフプランに向け、雇用保険・健康保険・公的年金について、資料に基づき詳しく説明。特に参加者は、雇用保険・公的年金の退職前準備と退職後の手続きの流れについて、真剣に聞き入った。セミナー終了後も各会場で10余名が残り、先生との個別相談を行った。

会場では、参加者に対し、労金職員が「ろうきん友の会」について、全労済職員が「継続契約」等についてそれぞれ説明した。

なお、「退職前セミナー」はこの後、8月30日＝七尾会場(七尾鹿島労働福祉会館・午前9時30分より)、8月31日＝輪島会場(輪島市労働者福祉会館・午前9時30分より)で谷内美穂子社会保険労務士を講師に開催される。

県LSC事務局次長 谷内 英明



6/28小松会場(小松市民センター)



6/29白山会場(白山市労働会館)



7/12金沢会場(労済会館)

石川労福協事務所改築

昨年12月6日の石川労福協第4回理事会で無料職業紹介所「ジョブいしかわ(仮称)」の開設を決定し



石川労福協(新)事務所

た後、諸準備(職業紹介責任者講習会受講、石川労福協定款変更、石川労働局・石川県との折衝、先進県視察)を進めてきたが、今年7月に入り労福協事務所改築工事を実施し、紹介所の場所を確保した。

また、生協連、労信協、勤文協の協力により7月1日～8日の間で拡張工事と事務所移転を完了した。

拡張された新事務所には、ライフ・サポートセンター(県・金沢市)と緊サポ、勤文協の事務局が同居し、県生協連の事務所と入れ替わった。



県生協連(新)事務所



財団法人 石川県労働者信用基金協会

設立40周年記念式典と祝賀会

川口理事長の挨拶



(財)石川県労働者信用基金協会の設立40周年記念式典ならびに祝賀会が6月10日(火)、金沢都ホテルで開催され、石川県をはじめ各自治体関係者や連合石川構成組織の役員、連合石川推薦の国・県・市・町議会議員、各事業団体の代表、北陸労働金庫の役員・支店長・所長など約120名が出席し、40年の節目を祝った。

午後5時から地下2階の「セミナーホール」で開かれた記念式典は、元木千明専務理事の司会で始まり、冒頭、川口昭一理事長がこの10年間における時代の背景、数字の推移などを述べ「県内の労働者が、労金等の融資制度を利用する道を拓くための役割を果たしてきた」と挨拶した。

引き続き、来賓の谷本正憲石川県知事や羽場利夫金沢市産業局長(金沢市長代理)、藪内義弘全国労信連会長、上田弘志労福協理事長(連合石川会長)が順に祝辞を述べ、祝電が披露された。次に新田秀一事務局長が資料に基づき、基本財産や債務保証残高、保

証限度率を報告した後、この10年間石川労信協の発展に尽力された12名に川口理事長より感謝状と記念品が贈呈され、被表彰者を代表し前後和雄元理事長がお礼の言葉を述べた。

式典後の祝賀会は、7階の「鳳凰の間」で開かれ、お祝い歌の民謡と踊りで華々しく開宴。川口理事長が参加者へのお礼の挨拶を述べた後、川淵尚志北陸労働金庫理事長の発声で乾杯、歓談に入った。

スピーチでは、北尾強也顧問弁護士や歴代役員の出口久一・細井満夫・篠塚重男各氏らが演壇に立ち、エピソードを語った。途中のアトラクションは、N T T労組 O Gの大正琴による懐かしい曲の演奏と県庁職員「いぬわし太鼓」メンバーによる力強いバチさばきで、大いに会場が盛り上がった。

最後に、山本敏夫富山勤信協理事長の万歳三唱で祝賀会を無事終了した。

石川労信協事務局次長
橋野 健一



全労済 職域・地域合同推進会議

全労済職域・地域合同推進会議が、6月2日(月)金沢地区47名、6月3日(火)能登地区23名、6月5日(木)小松地区18名の合計88名が出席し開催された。

職域・地域(地区運営委員)推進委員が参加した各地区会議の冒頭、橋本和雄理事長の挨拶の後、以下の内容を提案し、活発な議論が行われた。

1. 「全労済21世紀ビジョン」「21世紀経営改革方針」総括について
2. 全労済中日本事業本部「2007年度・2008年度計画(第5期計画)」2007年度経過報告／第5期計画補強策について
3. 石川県本部「2007年度・2008年度計画(第5期計画)」2007年度活動報告(案)／2008年度活動補強計画(案)について



2008年全労済 地域貢献助成事業

「2008年全労済地域貢献助成事業」として環境活動、子育て支援活動に取り組む団体等への助成を行ったが、石川県からの4団体の申請は、いずれも助成対象とはならなかった。

石川県生活協同組合連合会 第43回通常総会を開催

3回 石川県生協連通常総会



「石川県生活協同組合連合会第43回通常総会」が6月25日(水)、フレンドパーク石川で開催された。

冒頭、横山和男会長理事の挨拶の後、来賓

の多賀憲二石川県県民文化局県民生活課長と上田弘志県労働者福祉協議会理事長、金子隆之日本生協連関西地連事務局長がそれぞれ祝辞を述べた。

総会では、生協法改正を受け、定款・規約改正等の議案数の多い中、特に、08年度県連活動の大幅見直し最大の議案となった。また、4名の代議員から、持続可能な県連のあり方や会員生協間の連帯交流等について質問・意見が出された。

県生協連専務理事 表 重雄

2008年度役員

会長 理事	横山 和男	コープいしかわ
副会長 理事	高橋 正俊	県学校生協
専務 理事	表 重雄	コープいしかわ
理 事	若林 昭夫	コープやまなか
〃	横川 勝巳	金沢大学生協
〃	柴原 ひろみ	金沢医療生協
〃	水野 志郎	県労働者共済生協
〃	森岡 智恵子	コープいしかわ
〃	長谷川 隆史	コープいしかわ
〃	松田 理	石川工業専門学校生協
〃	奥村 博夫(新)	コープ北陸事業連合
〃	宮本 隆(新)	大学生協北陸事業連合
監 事	坂口 辰彦(新)	金沢大学生協
〃	水元 正人	県学校生協

中部会館協平成20年度 総会 綿常務(フレンドパーク石川)が会長に就任



綿新会長が挨拶



講師の平賀学芸員

中部7府県(石川・富山・福井・岐阜・三重・滋賀・京都)で労働会館や保養施設を持っている11会館で構成する中部ブロック労働者福祉会館協議会の「平成20年度総会」が6月26日(木)、伊勢市の「伊勢志摩労福協会館」で開かれた。

石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)も加盟しているこの協議会は、毎年、幹事会や研修会を開催し、全国会館協(32会館)の活動や各会館の情報を交換するなど、それぞれの課題解決に向け協力し合っている。

総会では、中村勉会長(伊勢志摩労福協会館)が挨拶し、フレンドパーク石川の綿征一常務理事を新会長とする新役員体制を確立した。

総会終了後の研修会は、三重県鳥羽市にある「海の博物館」の平賀大蔵学芸員が「私たちと伊勢湾」と題し講演。海の生物には干潟やアマモ場が重要な役割を果たしていること、赤潮と青潮の発生要因などを説明した。

翌日は、斎宮歴史博物館といつきのみや歴史体験館を見学した。

なお、総会にはフレンドパーク石川より吉村和実事務局員も出席した。

勤体協
主管

ひょっこりのとじま「2008能登島ロードレース」

過去最多の1,182人が潮風を受け快走!

ひょっこりのとじま「2008能登島ロードレース大会」は7月6日(日)に開催。北は北海道から南は沖縄までの1道1都2府24県から集まった過去最多エントリー1,182人の選手が、ハーフの沿岸周回コースと10kmの森林田園コースに分かれ、男女別8部門で能登半島地震から復旧を遂げたそれぞれのコースで競い合った。

スタート地点の能登島生涯学習総合センターで行われた開会式では、上田弘志県労福協理事長や三浦光雄七尾市教育長、八木晴雄県商工労働部労働企画課担当課長、高宮良貴北國新聞社事業局事業部長、天野耕兵衛勤体協顧問が歓迎と激励の挨拶をした後、七尾市の今部勝治選手が力強く選手宣誓を行った。

能登島大橋無料化を記念して始まり11回目となる今大会は、18歳以上の勤労者やOBが限定対象で、全国的にも珍しく、昨年に引き続き最高齢83歳を



上田弘志理事長がスターターを務める

じめ80歳や70歳代の選手も多く参加しており、70歳以上に授与する技能賞の該当者は30名を数えた。

初夏とはいえ、停滞する梅雨前線のため、必ずしも爽やかなコンディションとは言えず、30度を超える蒸し暑い天候の中、選手にとっては厳しい条件下のレースとなった。熱中症に罹った2名の選手が救急車で病院に搬送されたが、幸いにも無事回復し、即日退院できた。一方、厳しい暑さにも関わらず、殆どの選手が風光明媚な能登島の自然を満喫して力走、無事完走することができた。また、コース内に設置された給水所やシャワー所、ゴール地点では、七尾・鹿島、羽咋、輪島・穴水のライフ・サポート役員や労組をはじめ、七尾市教育委員会、七尾市職員その他、多くの一般ボランティアが次から次と走ってくる選手たちに冷たい水やドリンクを手渡して元気づけた。

レース後、地元能登島地区住民の協力で、例年どおり振る舞われためった汁とおにぎりが、選手達から「美味しい」と今年も大好評だった。

この大会は、能登島ロードレース実行委員会と北國新聞社が主催、共催は石川県、七尾市、七尾市教育委員会、主管は石川県勤労者体育協会が行い、その他石川県労働者福祉協議会等が後援し、七尾・鹿島、羽咋、輪島・穴水各地域ライフ・サポートセンター、各医療機関、警察署、交通推進隊、能登島地区の多くの市民の協力で成り立っている。

全国的に定着した感のある当大会は、手作りの良さを活かし、選手一人一人に心の温もりを感じてもらえる大会にすべく全力を傾注していく。明年の第12回大会開催に向けて、石川県、七尾市をはじめ関係各位のご指導ご支援をお願いする。

石川県勤労者体育協会事務局長 中野 俊一



各 部 門 の 優 勝 者

▽5部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山添正枝(七尾) ②山添正枝(七尾) ③山添正枝(七尾) ④山添正枝(七尾) ⑤山添正枝(七尾) ⑥山添正枝(七尾)	▽4部 (10km女子・50歳以上) ①高田明美(野々市) ②菅原由紀子(金沢) ③多田恵子(東京) ④成田由美子(京都) ⑤竹松幹子(白山) ⑥山添正枝(七尾)	▽3部 (10km男子・50歳以上) ①木村和彦(広島) ②松山和能(津幡) ③久利須隆(金沢) ④三浦悟(同) ⑤加藤龍次(滑川) ⑥清野秀一(新潟)	▽2部 (10km女子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽1部 (10km男子・18歳以上) ①原田歩(金沢) ②浜上貴志(白山) ③田悦士(射水) ④北川昌秀(金沢) ⑤岡本幸二(同) ⑥新出幸彦(同)	▽6部 (ハーフ女子・18歳以上) ①明園昌也(金沢) ②川嶋伸次(埼玉) ③中田武宏(金沢) ④清田克司(入善) ⑤伊藤一弥(金沢) ⑥中村圭宏(内灘)	▽7部 (ハーフ男子・50歳以上) ①堂前昭三(中能登) ②足立正登(京都) ③こがさお(滋賀) ④岡崎正次郎(三重) ⑤室塚菊信(津幡) ⑥山本秀男(兵庫)	▽8部 (ハーフ女子・50歳以上) ①山下寛志子(白山) ②山本利枝(金沢) ③駒井キミ子(羽咋) ④北安子(小松) ⑤清水あけ美(同) ⑥北川良子(金沢)	▽9部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽10部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽11部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽12部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽13部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽14部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽15部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽16部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽17部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽18部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽19部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽20部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽21部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽22部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽23部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽24部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽25部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽26部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)	▽27部 (ハーフ男子・18歳以上) ①山崎由貴(滋賀) ②佐々木英里(黒部) ③高村まゆみ(同) ④直下典子(加賀) ⑤坂東慶子(滋賀) ⑥同瀬みどり(津幡)
--	--	---	---	---	--	--	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

福祉グラウンド・ゴルフ大会実行委員会 中央大会を10月17日に開催

6月20日(金)13時30分からフレンドパーク石川で「第6回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会」の実行委員会を開催。才田巖・綿征一(労福協)、長岡次郎(ろうきん友の会)、西坂義徳(石川県グラウンド・ゴルフ協会)、大村賢治(北陸労働金庫)、藤原修(石川県障害者スポーツ協会)、谷内英明・一明政行(LSC)の各氏が出席し、今年度の競技内容を以下の通り決定した。

なお、今年も県障害者スポーツ協会より30名の選手を招待する。

①地域予選会

各地域ライフ・サポートセンターは、2008年9月末日までに、中央大会の出場選手20名(4チーム)を選出する。ただし、小松・能美LSCは40名(8チーム)、金沢LSCは60名(12チーム)とする。

②中央大会

- 【日 時】 2008年10月17日(金)
9:00～〈小雨決行〉
予備日＝10月19日
- 【会 場】 金沢市民芸術村「大和町広場」
- 【招 待】 石川県障害者スポーツ協会より30名(6チーム)を招待する。
- 【申 込】 2008年10月7日(火)までに、FAXまたはメールで申し込む。

【競技方法】

- ※32ホールで団体戦および個人戦の成績を競う。
※特別ルールとして「やむを得ず競技を棄権したホールは4打とする」。

第37回石川県勤労者絵画・陶芸展

- 【開 催 日】 8月28日(木)～8月31日(日)
午前10時～午後6時
(最終日午後3時まで)
- 【会 場】 金沢歌劇座1F 展示室
作品受付は県内8地域にて行います

入賞作品展

- 【羽咋会場】 羽咋労働福祉会館1Fホール
9月2日(火)～9月5日(金)
- 【鶴来会場】 パーク獅子吼ふれあい館
9月9日(火)～9月16日(火)
- 【寺井会場】 能美市立寺井図書館ギャラリー
9月18日(木)～9月24日(水)
- 【珠洲会場】 ラポルトすず市民ギャラリー
9月26日(金)～10月1日(水)
- 【美川会場】 美川コミュニティプラザ
10月3日(金)～10月8日(月)
- 【志賀会場】 志賀町文化ホール展示室
10月10日(金)～10月16日(木)
- ※午前10時～午後6時、最終日は午後3時まで

石川県勤労者文化協会
TEL 076-231-1746

さわやかU 連合金沢・推薦議員との政策懇談会

平田市議が挨拶



澤理事長の挨拶

連合金沢地域協議会(連合金沢)と連合金沢推薦金沢市議団による政策懇談会が7月11日(金)、金沢都ホテルで開催され、今回、連合金沢の配慮で、いしかわ介護ボランティアセンター(さわやかU)が取り組んできた「独居老人宅ゴミ出し」に関し、連合金沢幹事会と金沢市議団に説明し協力要請を行った。

懇談会の冒頭、山口幸男連合金沢議長、澤信俊さわやかU理事長、平田誠一市議が挨拶した後、宮本一二事務局長が「独居老人宅ゴミ出し」の経過とケアマネージャーを対象としたアンケートによる金沢市内のゴミ出しの現状および既に実施している全国42自治体の状況を説明した。

さらに、さわやかUとして、金沢市に対して独居老人の安否確認を含め、一人暮らしの高齢者・障害者を対象とした「みまもり・ふれあい収集」の実施を求めて行くことの支援を要請し意見交換会へと移った。

出席の田中仁市議からは「金沢市と同規模の自治体の状況を具体的な数字を調べて示すべき」との意見や川裕一郎・森一敏・山本由起子各市議からは「現実に取り組んだ実績の評価と問題点」を示された。

最後に、澤理事長から「行政サービス充実のため、金沢市直営事業として実施すべきであり、まずは3月議会で可決された『集合住宅におけるコミュニティ条例』を施行あるものにするため、集合住宅を対象に試行実施すべきではないか」との見解を述べた。

連合金沢幹事会と金沢市議団には、発言の機会をいただいたことに感謝申し上げると共に、高齢者福祉現場を取巻く厳しい現実を再度ご理解いただき、今後のご協力を心からお願い申し上げます。

さわやかU事務局 野村 昇司

地域ライフ・サポートセンターだより

小松・能美

第7回木場潟一周
「健康ウォーク」

6月8日(日)、小松・能美地域LSC恒例の「第7回木場潟一周健康ウォーク」が連合組合員・生協組合員ら317名の参加で開催された。



天候に恵まれた当日、庭田茂男LSC会長挨拶に続き、小松市体育協会の堂前恵指導員によるラジオ体操と準備運動を行い、6.4kmを元気にウォーキングした。

ウォーキング終了後の食事タイムでは、全員におにぎりを配布。また、参加者は各々模擬店のうどん・そば・焼きそば等をチケットと交換して食べた。最後に労金・生協の協力による抽選会で盛大に終了した。

小松・能美LSC事務局 薦 千栄子

七尾・鹿島

交流グラウンド・ゴルフ大会

七尾・鹿島地域LSCは6月7日(土)、七尾市「のと蘭ノ国」で地域交流グラウンド・ゴルフ大会を開催。日頃から練習を積んでいる労働組合OBをはじめ、組合員が家族連れで多数参加するなど地域・世代交流の場として大いに役立つ大会となった。

当日は好天にも恵まれ、楽しくプレーが進む中コース設定が簡単すぎたのか?参加者の技術が高かったのか?、97名の参加者のうち45名にホールインワンが出てしまい、賞品が足りなくなるハプニングもあったが、今大会の好プレー連発は、県中央大会に向けて期待の持てるものとなった。

<成績>

優勝	垣内	松則	70
2位	深浦	和男	71
3位	宮下	靖雄	71

七尾LSC事務局長 井田 孝之



白山・野々市

「絵付け教室」に
125名が参加

白山・野々市地域LSCは、去る5月24日(土)、白山市労働会館で恒例の「絵付け教室」を開催した。(午前の部80名、午後の部45名、計125名)

今年は昨年と違い、カップとソーサー(皿)一对の素材2セットが全員に与えられ、それぞれが思い描いた自然の風景やキャラクターの似顔絵、連続した幾何学模様を丹念に描く等、個性豊かな作品に仕上げた。

作品は、さらに釉薬を塗り焼き上げるため、完成には約2週間が必要となるが、自分の作った力作がどういう風に仕上がるかを楽しみに待った。

今回も、ニッコー労働組合(セラミックス連合)に大きな力添えをいただき感謝いたします。

白山・野々市地域LSCでは、今年度は「退職前研修会」や「グラウンド・ゴルフ大会」、「労済研修会」、秋には「バス旅行」等も企画しており、多くの参加を待っています。また、協力団体の活動推進のために、会員名簿作成にもご協力をお願いします。

白山・野々市LSC事務局長 福村 滋



加 賀

クリーンキャンペーンに参加



加賀地域LSCボランティア部会活動の一環として6月15日(日)、加賀市主催の「クリーンキャンペーン」にボランティア参加し、柴山潟のゴミ拾いを行った。

当日は、朝8時から9時30分まで連合加賀地協組合員と合同で100名がゴミ袋を片手に汗を流した。

この活動は5年目を迎え、今では直接地元からの要請があり、貴重な戦力と期待されており、今後も自然や環境を考える機会と捉え、併せて会員各位の協力で地域に貢献する活動を続けていきたい。

第13回囲碁大会を開催

加賀地域LSCの「第13回囲碁大会」は6月22日(日)、加賀地区労働会館で行われた。



ピーンと張り詰めた会場は、石を打つ音が響く中、25名の棋士が終日、熱戦を繰り広げた。

<成績>

Aクラス(3段以上)

優勝	岡田	一志
2位	三瀬	常夫
3位	石川	陽一

Bクラス(1級以上2段まで)

優勝	宮崎与志嗣
2位	谷口 晃博
3位	丹羽 外吉

Cクラス(2級以下)

優勝	尾田 新一
2位	栗井 正則
3位	野沢 昭

加賀LSC事務局 角谷 代志子